

2022年3月8日

各位

会社名 UTグループ株式会社
 代表者 代表取締役社長 兼 CEO 若山 陽一
 (コード: 2146 東証第一部)
 問合せ先 上席執行役員 経営基盤部門長 山田 隆仁
 電話番号 03(5447)1710

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年11月5日に公表しました2022年3月期(2021年4月1日~2022年3月31日)の連結業績予想につきまして、以下のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

1. 2022年3月期 通期連結業績予想値の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 160,000	百万円 6,000	百万円 6,000	百万円 3,400	円 銭 84.24
今回発表予想(B)	156,500	5,700	5,600	2,400	59.46
増減額(B-A)	△3,500	△300	△400	△1,000	△24.78
増減率(%)	△2.2	△5.0	△6.7	△29.4	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	115,131	7,163	7,191	4,299	106.53

2. 修正の理由

当社グループでは、2020年5月に公表した第4次中期経営計画(2021年3月期~2025年3月期の5ケ年)の最終年度におけるEBITDA目標の達成に向かい、同計画3年目となる2022年4月1日付で大規模なグループ内組織再編を実施いたします。同計画における重点戦略として「大手製造業向け人材ワンストップ戦略」、「地域プラットフォーム戦略」、「ソリューション戦略」をより明確な道筋で推進し、中長期的に筋肉質で強固な事業基盤を形成していく上で、非常に重要な組織再編となります。これに伴う組織再編関連費用として、当期に特別損失を追加で計上いたします。加えて、金融費用の発生等により、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想よりも下回る見込みとなりました。

一方、事業活動におきましては、旺盛な人材需要を背景に、下期も引き続き採用関連費用を投じ、採用活動を強化することで、期末技術職社員数の最大化を目指しております。その結果、順調に売上成長を加速することができております。しかしながら、当社の主力事業であるマニュファクチャリング事業の自動車関連分野におきまして、2021年夏場以降に発生した大手自動車メーカーにおける部材不足等による一部生産調整の影響は依然として続いており、当期中に想定していた生産正常化が来期へと遅れが生じている状況であります。これを踏まえ、売上高および営業利益につきましても修正することといたしました。

当社グループは、第4次中期経営計画の最終年度における EBITDA200～300 億円への利益成長を果たすため、当初 2024 年 3 月期としていた EBITDA150 億円の達成時期を 1 年前倒して 2023 年 3 月期で達成することを目指し、2022 年 3 月期においては技術職社員数を増加させ、シェアと売上高を拡大することを最重要課題として取り組んでおります。2023 年 3 月期にはさらにトップラインを引き上げるとともに、組織再編等により生産性を向上させることで、EBITDA150 億円を達成し、2025 年 3 月期の EBITDA300 億円達成の確度を高めてまいります。

※上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上